

# 八丈島

## 水産だより

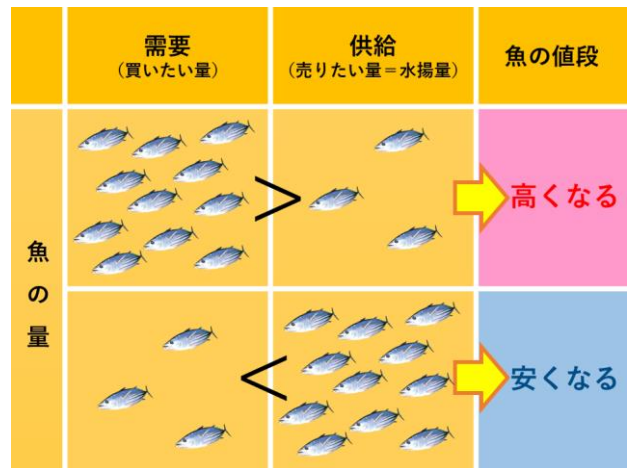
7月号  
2021年



今年の6月は、上旬からしばらくは湿気が少なく気持ちの良い日が多かったのですが、下旬になると島の東側を通過した台風5号の影響もあってか梅雨前線が島周りまで北上し、八丈島の梅雨が本格化しました。7月1日には海開きがありましたが、ピカピカの夏を楽しむのはまだもう少し先の話になりそうです。夏といえばパッションフルーツやネリ（島オクラ）、島唐辛子、そしてムロアジ、トミメ（ナメモンガラ）、、、、八丈島の夏の味覚が待ち遠しくておなかが減っちゃいますね！

### ■ 最近の漁模様 ~水揚量と魚の値段~

6月前半は海況が良い日が多くキンメダイ、キハダ、カツオなどが水揚げされましたが、6月後半は時化が多く出漁日が減りました。また新型コロナウイルスの影響による外食需要の減少に加え、一部の魚（カツオなど）では全国的に水揚げが多いため魚の値段が安くなり、漁業者さんは困っています。魚が獲れるのはいいことですが、一度に多く獲れすぎてしまうと、需要と供給のバランスが崩れてしまいます。



### ■ SDGs とこれからの水産業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目標達成に向け、海洋汚染の防止・海洋生態系の保全・過剰漁業や違法漁業の撤廃などのターゲットが定められている。

「SDGs (エスディーズ)」とは国連で定められた「持続可能な開発目標」という世界規模の目標です。全部で17の目標が掲げられ、中には「海の豊かさを守ろう」という目標もあります。水産資源は生物であるため、子を産み、増えることができます。これを「再生産性」と言い、石炭などの鉱物資源と大きく違う点です。この再生産性を活かし、将来にわたり持続的に水産物を活用できるような水産業の仕組みを作ることが重要です。